



世界に目を向ける ほたるの里づくりと ほたるの交流会

事務局長 星野信好

今年もほたる祭りまで大変な仕事への取り組みをこなし、会員の皆さんの潜在能力の高さ、感性の鋭さにただただ、ビックリするばかりです。

今年の事業、ハード面ではほたるの里の案内板、四阿、散策道手すりなどの補修と新設。丸太いすの設置。水路の砂上げ(約200m)などがありました(毎年実施の行事、土手の除草、水路内の草取り、カワニナ養殖も予定通り)。ソフト面では会報発行の準備(VOL・1で中学2年生の素晴らしい原稿に感動)、長年の懸案ホームページ開設(平成20年2月、データの毎月集計、大島氏、海外からのアクセスもあった)、赤城町ホタルマップ作成(4年がかりの大作、調査は今後も続く)、ホタルの生態写真(角田尚士氏、田部井千圭広氏、津久

ランティアグループでは小栗上野介の里倉淵町 倉淵ほたるの会(会長 原田公氏ほか21名)、小栗上野介の徳川埋蔵金(200兆円?)は赤城町と深い関係があります。榛東村八幡ホタルの会(会長 森田卓氏、ほか7名)、田口町ほたるを守る会(会長 芝田美行氏、自治会長 中野実氏)、吉岡ホタルの会(会長 大友昭光氏、事務局長 近藤保氏) A L T (英、米から語学研修で小、中学校へ派遣)の皆さんなど多くの組織の人たちとホタルを通しての環境づくり、地域づくり、人づくりについて語り合い交流を深めることができました。

井智氏、星野陵介君など)記録写真と映像のDVD化(津久井廣美氏)、内容が素晴らしく各方面で大好評。やや弱いと言われていたソフト面への取り組みは近年にない充実ぶり。会員の皆さんに感謝、感謝:でした。また、今年のほたる祭りでは各方面から多くの視察、交流がありました。行政では木暮市長をはじめ、市環境課、支所市民福祉課、ポ



平成21年6月20日 第9回ほたる祭りにて

特に木暮市長には今年もほたる祭りに出席いただきその上、数多くの来訪者と長時間にわたり話し合われ親睦を深めていただきました。感謝の気持ちで一杯です。しかし、その後まもなく逝去されました。病を押して

おいでいただいたのかと心が痛みます。厚くお礼を申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

—合掌—

終わりに、会員の皆さんの今後の活躍と会の発展を祈念いたします。



化身 ほたる保護活動を永遠に...

ふれあい

津久井美恵子

今年ほたる祭りに参加させていただきました。ありがとうございました。来ていただいたお客さまの笑顔やおいしそうにおでんを食べている姿、また子供の会員たちがホタルの生育の様子をお客さまに熱心に説明するなどたくさんの人たちと触れ合う機会を与えてくれたほたる祭りに感謝したいと思います。来年もほたる祭りに来てくださる人たちがたくさん触れ合うことができたらぜひ参加したいと思います。

宮田ほたるの里

諸田しづ子

宮田ほたるの里を守る会に参加させていただきます